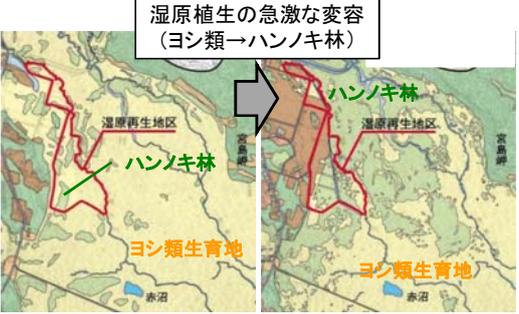
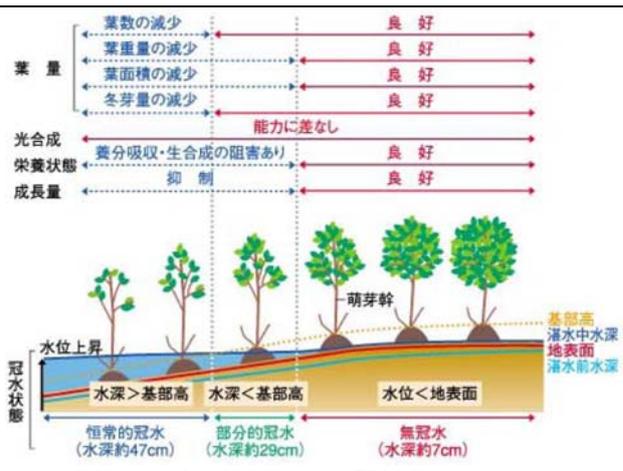


# 第1回湿原再生小委員会 (H16. 2. 17) の議題と内容 (1/2)

議 題	内 容
全体構想と小委員会との関わりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当面、湿原再生小委員会で対象とする事業区域は、広里地区、幌呂川地区、安原地区とする。</li> <li>● 実施計画の作成にあたっては、全体構想のもと各小委員会の間で情報を共有し、自然再生の効果が全体として発揮されるように配慮する。</li> </ul>
広里地区湿原再生について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広里地区の再生の目標は、農地跡地については農地造成以前の1960年代後半の湿原の状態とし、ハンノキ林部分については調査結果を踏まえて今後検討する。</li> <li>● 農地跡地では地盤掘り下げ試験、ハンノキ林部分ではハンノキ伐採試験を実施し、植生の回復状況、環境条件の変化状況を調査している（右写真）。</li> </ul>  <p style="text-align: center;">▲地盤掘り下げ試験 ▲ハンノキ伐採試験</p>
幌呂川地区湿原再生について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幌呂川地区は、過去に改変され、現在は利用されていない土地という点に着目して、湿原再生区域に設定した。</li> <li>● 幌呂川地区の湿原再生目標は、次のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台地から湿原までの間の湿原移行帯からなる湿原環境の再現</li> <li>・ 高層湿原や赤沼、池塘等、周辺湿原を含む地下水、表流水など良好な水環境の回復</li> </ul> </li> </ul>  <p style="text-align: center;">▲1947年の植生図 ▲1996年の植生図</p>

# 第1回湿原再生小委員会 (H16. 2. 17) の議題と内容 (2/2)

議 題	内 容
雪裡樋門湛水試験について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本地区では、樋門を利用して水位上昇による湿原植生への影響を把握し、植生の制御方法を技術的に確立することを目的とした湛水試験を実施した。</li> <li>● 湛水試験は平成12年9月から平成15年5月まで行い、湛水によりハンノキの成長が抑制されることが判明した（右図）。</li> </ul>  <p style="text-align: center;">▲水深とハンノキの生育状況の関係</p>

## 第2回湿原再生小委員会 (H16. 6. 24) の議題と内容 (1/2)

議 題	内 容										
<p>広里地区 自然再生 事業 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地盤掘り下げ試験では、土壌水位、水質に変化が見られたほか、ヨシ実生の生存率の低さと初期生長の悪さが確認された。また、ハンノキ伐採試験では、ミズゴケ類を除いては伐採による影響は見られなかった。</li> <li>●旧雪裡川の水位上昇が地下水に与える影響を予測するため、地下水シミュレーションを実施した。その結果、一部で浅い水面が出現すると予測された。</li> </ul>										
<p>幌呂川地区 における 湿原再生 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地形、地下水位、動植物に関する現地調査結果を踏まえ、現状の条件別にエリア区分を行い、各エリアの具体的目標を設定した(右図)</li> <li>●地域の農用地では、地盤沈下による排水不良や牧草生産力の低下などの影響が生じている。地域農業者の要望を受け、農地の整備構想策定に向けた農業事業調査を進めていく。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center;">  <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>エリア</th> <th>具体的目標(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #f4a460; text-align: center;">A</td> <td>農地と隣接した湿原の復元</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #8e44ad; text-align: center;">B</td> <td>移行帯の湧水環境の復元</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #27ae60; text-align: center;">C</td> <td>湿原本来の植生・景観の回復</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #3498db; text-align: center;">D</td> <td>水環境の保全</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">▲幌呂川地区における具体的目標(案)</p>	エリア	具体的目標(案)	A	農地と隣接した湿原の復元	B	移行帯の湧水環境の復元	C	湿原本来の植生・景観の回復	D	水環境の保全
エリア	具体的目標(案)										
A	農地と隣接した湿原の復元										
B	移行帯の湧水環境の復元										
C	湿原本来の植生・景観の回復										
D	水環境の保全										

## 第2回湿原再生小委員会 (H16. 6. 24) の議題と内容 (2/2)

議 題	内 容
<p>雪裡樋門地区における 湛水試験について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 湛水の結果、ハンノキの成長抑制やヨシの減少が見られた。一方、ツルスゲが生育良好となり、イヌイトモ、ヒンジモ、タヌキモなどの絶滅危惧種も確認された。また、カモやハクチョウの確認数も増加した。</li> <li>● 抜水後も、ハンノキの生長量に湛水の影響が見られた。また、湛水中に確認されなくなった移動性の魚類も抜水後に確認された。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>平成15年撮影</p>  <p>▲抜水直後の試験地の状況(H15年撮影)</p> </div> <div style="margin: 0 20px; text-align: center;"> <p>抜水約1年後</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>平成16年撮影</p>  <p>▲湛水終了後の試験地の状況(H16年撮影)</p> </div> </div>

## 第3回湿原再生小委員会 (H17. 5. 11) の議題と内容 (1/2)

議 題	内 容
<p><b>釧路湿原の面積について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 湿原面積の変遷、再生事業の評価を行うにあたって、事務局から湿原面積算出方法が提案され、今後関係者で検討していくことになった。</li> </ul>
<p><b>釧路湿原全域動植物調査の概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 釧路湿原国立公園の湿原区域を対象に現地調査を実施し、縮尺1/25,000の植生図を作成した。</li> <li>● ニホンザリガニ、タンチョウ、キタサンショウウオなどの希少野生動物の保全調査を実施した。今後、生息環境の保全に向けた計画を検討する。</li> </ul>
<p><b>広里地区について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地盤掘り下げ試験、ハンノキ伐採試験、関連する現地調査の結果が報告された。</li> <li>● 広里地区における人為的干渉による湿原からハンノキ林への移行メカニズムの研究課題が報告された (右図)</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>▲ハンノキ林侵入・拡大のメカニズムと研究課題</p> </div>

## 第3回湿原再生小委員会 (H17. 5. 11) の議題と内容 (2/2)

議 題	内 容
<p><b>幌呂川地区について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第2回湿原再生小委員会において、現状を踏まえてA~Dのエリア区分を行った。第3回小委員会では、現状を分析するため、より詳細なエリア分けを行い、湿原と丘陵地の移行帯の現状を把握するための現地調査を実施した (右図)。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>▲エリア区分図</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▲移行帯の現状</p> </div> </div>
<p><b>関連する農業整備事業について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農業用排水路および農用地の機能低下状況を調査するとともに、地域環境の現状について現地調査を行い、環境に配慮した土地改良事業の整備構想の検討を行った。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">排水路への沈砂池の設置イメージ ▶</div> </div>
<p><b>雪裡樋門地区について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 湛水により、ハンノキの枯死、形態の変化、葉量の低下などが認められた。</li> <li>● 湛水域の植生の中が小型魚類の良好な生息環境となったが、湛水期間中は水門の閉鎖によりサケ科魚類の移動阻害が生じていた。</li> <li>● 湛水中は、水面の出現により水鳥の確認種数が増加した。</li> </ul>